

高石市立公民館主催防災講座で講演を行いました！

公益社団法人日本技術士会近畿本部 科学技術支援委員会

高石市公民館様主催の地域防災講座にて、講演会講師を務めさせていただきました。

1. 開催日： 2014年11月20日(木) 19:00～20:30
2. 場所： 高石市立中央公民館
3. 主催： 高石市立公民館
4. 主題： 技術士に聞く 大災害の再来に備えて ～みんなで考えよう 我が家の防災～
5. 内容： 地震や津波、大雨による浸水など、地域で想定される災害に対して、個人、家庭、地域で行うことができる対策について
6. 講師： 福岡 悟
7. 参加者： 48人
8. 概略内容

- ・東日本大震災の記録ビデオ(宮城県多賀城市様寄贈)を上映した。
- ・地震国である日本で最近発生した地震や近未来に発生が予想されている地震について解説した。また、近畿地方の主な活断層について解説した。
- ・阪神淡路大震災の際の構造物被害に関して、講演者自身が主に関わった阪神高速道路の被害調査の結果を中心に紹介した。また、東日本大震災の際の液状化被害についても紹介した。
- ・災害対策基本法に基づいて各自治体が定める地域防災計画を紹介した。また、高石市における防災計画と防災マップについても紹介した。
- ・実際の災害発生時への備えとして、避難訓練への参加、普段からの地域社会の連携基盤づくり、自宅の耐震診断と対策の重要性を解説した。筋交いの有無等で構造物の揺れに対する耐性が大きく変わることを、模型を使った実演も加えて解説した。また、地盤が振動によって液状化することを、模型を使った実験により解説した。



9. 実施状況報告

科学技術支援委員会としては、子供さん向けの理科実験教室以外のテーマを受け持つことは初めての経験となりました。地域防災をテーマにした講演会は、各地で様々な専門的背景をお持ちの講師の方が行っておられると思います。そのような中、科学技術支援委員会としては今回、エンジニアリングの専門家たる技術士としての立場に立ち、「地震の際、地盤や構造物はどのような被害を受ける、あるいは及ぼすのか」という観点から、地域住民にとって最も身近な構造物である自宅において立てるべき対策についても詳しく解説できたのではないかと考えております。

9. 会員の皆様へのお願い

科学技術支援委員会では、理科実験教室、工作教室、一般市民向け講演会等、科学技術にまつわる啓発活動に引き続き取り組んでいきます。

講師に挑戦したい方は、近畿本部科学技術支援委員会HP <http://www.ipej-knk.jp/iinkai.html> まで。